

ご報告：パプアニューギニア独立国消防車寄贈事業

2018年度海外援助事業として、パプアニューギニア独立国のパプアニューギニア消防局へ日本の自治体より無償譲渡を受けた消防車（はしご車）2台を寄贈しました。

車両現地到着後の2019年12月、研修、および日本大使館立ち合いのもと引渡式が行われましたので、併せてご報告いたします。

<写 真>

<p>1</p>	<p>&lt;寄贈物品&gt;</p> <p>左から山口県美祢市、埼玉県行田市から供出を受けたそれぞれの30m、40m級のはしご車</p> <p>背後の建物はパプアニューギニア消防局の本部庁舎</p>	
<p>2</p>	<p>&lt;研修&gt;</p> <p>はしご車の取り扱い方法を説明する株式会社モリタテクノス高野聡エンジニア（左から2番目）</p> <p>初めて扱うはしご車を隊員たちは慎重に一つ一つ手順を確認した。</p>	

<p>3</p> <p>&lt;研修&gt;</p> <p>はしご車の操作練習</p> <p>4～5人のチームに分かれ協力して操作要領を確認、復習を行った。</p> <p>日差しが強く、作動油の温度が上がり梯子の動きが鈍くなるため、休憩時間を挟みながら進化した。</p>	
<p>4</p> <p>&lt;研修&gt;</p> <p>はしご車による放水練習</p> <p>実際の火災を想定した緊張感のある訓練を行った。</p> <p>水利は中国から寄贈された車両、および弊協会から18年度寄贈した水槽付ポンプ車を利用した。</p> <p>※18年度寄贈車両 化学消防車1台、水槽付ポンプ車1台、救助工作車1台、ポンプ車（ランドクルーザー型）3台</p>	



<p>5</p>	<p>&lt;研修&gt;</p> <p>はしご車のメンテナンス</p> <p>それぞれ異なる仕様のはしご車を理解しながら、給脂要領などを確認した。</p>	
<p>6</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>スピーチをするパプアニューギニア消防局ビル・ルー長官</p> <p>日本の継続した消防車寄贈支援に対し感謝の言葉を述べるとともに、パプアニューギニアの発展に防災能力強化が欠かせないことを強調した。</p>	
<p>7</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>高野エンジニア（左端）を介して参加者一人一人へ修了証書を手渡すパプアニューギニア日本大使館中嶋敏特命全権大使（中央）</p>	

<p>8</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>パプアニューギニア独立国 ポートモレスビー首都区バー ナード・キピット市支配 人（左から2番目）へ車両 鍵を引き渡す中嶋大使</p> <p>防災は都市全体が取り組む べき課題として、ルー長官 （左から4番目）の提案で 鍵はキピット市支配人へ手 渡された。</p>	
<p>9</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>式典に参列した関係者へ修 得した技術を披露する隊員 たち</p> <p>多くの人が見守る中、時間 がかかったものの、はしご 先端のバスケットで救助が 成功すると盛大な拍手が起 こった。</p>	
<p>10</p>	<p>&lt;現地事情&gt;</p> <p>パプアニューギニア独立国 首都ポートモレスビーの街 並み</p> <p>鉱業・石油業界を中心に経 済発展を続けている。</p>	